



2014年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2013年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クラレ

コード番号 3405

URL <http://www.kuraray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 文大

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 IR・広報部長 (氏名) 島本 智之 (TEL) 03-6701-1071

四半期報告書提出予定日 2013年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2014年3月期第1四半期の連結業績 (2013年4月1日～2013年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年3月期第1四半期	93,158	5.2	10,412	△11.0	10,345	△2.3	6,555	12.6
2013年3月期第1四半期	88,523	△1.6	11,698	△26.0	10,590	△31.9	5,822	△37.7

(注) 包括利益 2014年3月期第1四半期 18,021百万円(45.1%) 2013年3月期第1四半期 12,420百万円(△13.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2014年3月期第1四半期	18.74	18.67
2013年3月期第1四半期	16.71	16.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2014年3月期第1四半期	597,157	413,892	68.3
2013年3月期	587,254	401,307	67.2

(参考) 自己資本 2014年3月期第1四半期 407,625百万円 2013年3月期 394,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2013年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2014年3月期	—				
2014年3月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2014年3月期の連結業績予想 (2013年4月1日～2014年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	205,000	13.3	26,000	8.8	25,500	16.5	16,000	25.5	45.87
通期	430,000	16.4	60,000	22.0	58,500	20.4	35,000	21.5	100.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2014年3月期1Q	382,863,603株	2013年3月期	382,863,603株
② 期末自己株式数	2014年3月期1Q	32,637,971株	2013年3月期	34,029,727株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2014年3月期1Q	349,774,963株	2013年3月期1Q	348,434,484株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(2)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	四半期連結包括利益計算書	7
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(セグメント情報等)	8
4.	参考情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2013年4月1日～2013年6月30日)における経営環境は、前連結会計年度終盤より円高の局面が是正されましたが、欧州経済の回復の遅れ、中国をはじめとする新興国経済の成長ペース鈍化により、全体的に需要に力強さを欠く状況が続きました。国内においても「アベノミクス」に対する期待感はあるものの、実体経済には顕著な効果はまだ見られていません。

このような状況においても、当社グループは持続的な成長を実現させるため、前連結会計年度よりスタートさせた中期経営計画『GS-Ⅲ』に掲げた経営戦略に基づき、コア事業の世界戦略を加速するとともに、水・環境、エネルギー、光学・電子の各領域において次世代を担う事業の開発を積極的に推進しています。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比4,634百万円(5.2%)増の93,158百万円、営業利益は1,286百万円(11.0%)減の10,412百万円、経常利益は245百万円(2.3%)減の10,345百万円、四半期純利益は732百万円(12.6%)増の6,555百万円となりました。

当社は、2013年4月1日付で、中期経営計画『GS-Ⅲ』に掲げた諸施策を一層確実に実行するために組織改定を実施しました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しています。変更の詳細は9ページ「4. 参考情報」をご参照ください。なお、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。

セグメント別の状況

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は43,602百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は11,770百万円(同1.2%減)となりました。

① 水溶性ポパールフィルムは旺盛な需要を背景に順調に拡大しましたが、光学用ポパールフィルムは液晶テレビの需要が回復傾向にあるものの、パネルの在庫調整が続いたため、販売量は微増に留まりました。ポパール樹脂は特にアジアでの競合激化の影響を受け、全般的に苦戦しました。また、PVBフィルムは欧州の景気低迷の影響を強く受けました。

なお、洗剤用途の旺盛な需要拡大に対応するため、米国で水溶性ポパールフィルムの増設を決定しました。

② EVOH樹脂<エパール>は欧州で伸び悩みましたが、米国、アジアでは順調に拡大しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は11,801百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は242百万円(同59.5%減)となりました。

① イソプレン関連では、熱可塑性エラストマー<セプトン>は需要が回復傾向にあるものの、ファインケミカル、液状ゴムの需要が低調に推移しました。

② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、LED反射板・コネクタ用途が堅調に推移し、自動車用途も拡大しました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は10,560百万円(前年同期比1.1%増)、営業損失は50百万円(前年同期は434百万円の利益)となりました。

① メタクリル樹脂は、引き続き市況低迷および原燃料価格上昇の影響を受けました。

② メディカルは、歯科材料の販売が堅調に推移しました。

③ 人工皮革<クラリーノ>は、靴用途の需要が引き続き低調に推移、ランドセルの在庫調整の影響も受けましたが、構造改善の一環として取り組んでいる既存プロセスの中国移管は順調に進んでいます。

[繊維]

ビニロンは、需要の回復によりプレーキホース用途、アスベスト代替のFRC(繊維補強セメント)用途ともに堅調に推移しました。この結果、売上高は10,138百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益は768百万円(同25.3%増)となりました。

[トレーディング]

ポリエステルをはじめとする繊維関連事業は堅調に推移しましたが、一部の事業は景気低迷の影響を受け伸び悩みました。この結果、売上高は25,512百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益は714百万円(同5.2%減)となりました。

[その他]

活性炭事業は、エネルギー関連用途を主体に堅調に推移しました。活性炭以外の事業については総じて景気低迷の影響を受け、売上高は13,659百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は320百万円（同68.4%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想について、当第1四半期連結累計期間における欧州経済の回復遅れなどの影響を踏まえ、下表のとおり営業利益、経常利益を下方修正します。通期の連結業績予想は年初予想どおりです。

2014年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(2013年4月1日～2013年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (2013年4月25日)	205,000	27,000	26,500	16,000	45.87
今回修正予想	205,000	26,000	25,500	16,000	45.87

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更）

当第1四半期連結会計期間より一部の在外子会社について「従業員給付」（国際会計基準審議会 国際会計基準第19号 2011年6月16日）を適用しています。これにより、数理計算上の差異、過去勤務費用および純利息費用等の認識方法ならびに表示方法の変更等を行っています。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっています。なお、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,151	45,549
受取手形及び売掛金	83,843	79,316
有価証券	31,696	33,401
商品及び製品	57,823	60,700
仕掛品	10,332	11,446
原材料及び貯蔵品	15,138	14,640
繰延税金資産	5,732	4,825
その他	7,237	7,034
貸倒引当金	△742	△610
流動資産合計	257,212	256,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,938	42,516
機械装置及び運搬具(純額)	82,298	82,232
土地	20,425	20,987
建設仮勘定	32,326	40,004
その他(純額)	4,285	4,327
有形固定資産合計	181,274	190,068
無形固定資産		
のれん	24,659	25,616
その他	26,664	28,477
無形固定資産合計	51,324	54,093
投資その他の資産		
投資有価証券	83,543	83,022
長期貸付金	679	521
繰延税金資産	2,744	3,049
前払年金費用	5,437	5,343
その他	5,114	4,826
貸倒引当金	△76	△73
投資その他の資産合計	97,442	96,690
固定資産合計	330,041	340,852
資産合計	587,254	597,157

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,048	29,643
短期借入金	30,918	30,958
未払法人税等	7,687	1,975
賞与引当金	6,590	4,240
その他の引当金	21	13
その他	29,182	30,027
流動負債合計	111,449	96,858
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	28,171	38,207
繰延税金負債	14,872	15,830
退職給付引当金	6,665	7,282
役員退職慰労引当金	178	132
環境対策引当金	1,051	1,051
資産除去債務	2,336	2,401
その他	11,221	11,500
固定負債合計	74,497	86,406
負債合計	185,947	183,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,147
利益剰余金	263,262	263,073
自己株式	△40,169	△38,527
株主資本合計	399,195	400,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,076	5,864
繰延ヘッジ損益	△17	△26
為替換算調整勘定	△9,877	1,881
年金負債調整額	△622	△744
その他の包括利益累計額合計	△4,440	6,976
新株予約権	1,221	1,034
少数株主持分	5,330	5,232
純資産合計	401,307	413,892
負債純資産合計	587,254	597,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)
売上高	88,523	93,158
売上原価	59,710	63,978
売上総利益	28,812	29,179
販売費及び一般管理費		
販売費	4,376	4,722
一般管理費	12,738	14,044
販売費及び一般管理費合計	17,114	18,766
営業利益	11,698	10,412
営業外収益		
受取利息	97	176
受取配当金	409	222
持分法による投資利益	30	19
その他	271	355
営業外収益合計	809	774
営業外費用		
支払利息	252	242
出向者労務費差額負担	250	198
その他	1,414	400
営業外費用合計	1,917	842
経常利益	10,590	10,345
特別損失		
固定資産廃棄損	—	207
買収関連費用	542	—
投資有価証券評価損	351	—
特別損失合計	894	207
税金等調整前四半期純利益	9,696	10,137
法人税、住民税及び事業税	2,335	2,943
法人税等調整額	1,461	589
法人税等合計	3,797	3,533
少数株主損益調整前四半期純利益	5,898	6,604
少数株主利益	76	49
四半期純利益	5,822	6,555

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,898	6,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253	△210
繰延ヘッジ損益	△22	△8
為替換算調整勘定	6,819	11,759
年金負債調整額	△22	△122
その他の包括利益合計	6,521	11,417
四半期包括利益	12,420	18,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,344	17,972
少数株主に係る四半期包括利益	75	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	29,721	7,622	6,324	7,904	25,926	77,497	11,025	88,523	—	88,523
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,376	4,206	4,116	2,587	886	19,173	3,824	22,998	△22,998	—
計	37,097	11,828	10,440	10,491	26,813	96,671	14,850	111,521	△22,998	88,523
セグメント利益	11,913	600	434	613	754	14,316	1,011	15,327	△3,628	11,698

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△3,628百万円には、セグメント間取引消去△8百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,620百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	37,103	6,876	7,114	7,534	24,822	83,451	9,706	93,158	—	93,158
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,498	4,924	3,445	2,603	690	18,163	3,952	22,116	△22,116	—
計	43,602	11,801	10,560	10,138	25,512	101,614	13,659	115,274	△22,116	93,158
セグメント利益 又は損失(△)	11,770	242	△50	768	714	13,446	320	13,766	△3,354	10,412

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△3,354百万円には、セグメント間取引消去74百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,428百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、中期経営計画『GS-III』で掲げた諸施策を一層確実に実行するために組織改定を実施しました。これにより、報告セグメントの区分を従来の「樹脂」「化学品」「繊維」「トレーディング」から、「ビニルアセテート」「イソプレン」「機能材料」「繊維」「トレーディング」に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

4. 参考情報

セグメント区分の変更に関する補足情報（新旧セグメント対比）

<旧セグメント> 2013年3月期

報告セグメント	樹脂	化学品	繊維	トレーディング	その他
主な事業	*ポパール製品群	メタクリル	ビニロン	ポリエステル	活性炭
	<エパール>	イソプレン	<クラリーノ>	トレーディング事業	アクア事業
		<セプトン>	<クラフレックス>		エンジニアリング
		<ジェネスタ>	ファスニング		その他
		メディカル			

<新セグメント> 2014年3月期

報告セグメント	ビニルアセテート	イソプレン	機能材料	繊維	トレーディング	その他
主な事業	*ポパール製品群	イソプレン	メタクリル	ビニロン	ポリエステル	活性炭
	<エパール>	<セプトン>	メディカル	<クラフレックス>	トレーディング事業	アクア事業
		<ジェネスタ>	<クラリーノ>	ファスニング		エンジニアリング
						その他

*ポパール製品群（ポパール樹脂、ポパールフィルム、PVB樹脂・フィルム）